

- 問1 中部地方の内陸部、岐阜県に位置する白川郷では、急傾斜の茅葺き屋根を特徴とする「合掌造り」の家屋が見られます。この地域でこのような独特の建築様式が発達した理由として、自然環境の面から説明した次の文のうち、最も適切なものはどれですか。(2020年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで屋根が崩れるのを防ぎ、雪下ろしの作業を軽減するため
  2. 台風の通り道にあたるため、激しい風雨に耐えられるよう屋根の面積を広げて安定させるため
  3. 夏季の高温多湿な気候において、屋根裏の通気性を高めて室内の温度上昇を抑えるため
  4. 山間部で土地が狭いため、屋根を高くすることで居住スペースを垂直方向に広げるため
- 問2 フォッサマグナの西側に位置する赤石山脈周辺の地域では、その自然環境を活かした産業が営まれています。この地域の地形や気候の特色と、そこで発達した産業の組み合わせとして、最も適切な説明を選びなさい。(2015年 佐賀公立入試 類似)
1. 標高が高く険しい一方で降水量が多いことから、豊富な森林資源を利用した林業が盛んである。
  2. 火山灰が積もった広大な台地が広がっているため、水はけの良さを活かした畑作が盛んである。
  3. 冬の積雪が多く平地が限られているため、寒冷な気候に強い米作りが盛んである。
  4. なだらかな傾斜地が多く夏でも涼しいため、大消費地向けの乳牛の飼育が盛んである。
- 問3 人口密度が1平方キロメートルあたり約4600人と非常に高く、人口が増加傾向にある愛知県のような都市部では、昼夜間人口比率が100%を超えています。このような現象が起こる主な理由として最も適切な説明を選びなさい。(2025年 福岡県公立入試 類似)
1. 周辺の地域から通勤や通学のために流入する人口が、その地域から流出する人口を上回っているため
  2. 出生率が死亡率を大きく上回り、自然増によって年少人口の割合が周辺地域よりも高くなっているため
  3. 観光資源が豊富であり、宿泊を伴わない日帰り観光客が夜間もそのまま滞在し続ける仕組みがあるため
  4. 大規模な集合住宅の建設が周辺部で進んだ結果、夜間に居住する人口が昼間の人口を上回ったため
- 問4 愛知県の工業に関する統計において、1960年から2014年にかけて工場の数にあたる事業所数は減少している一方で、製造品出荷額は1.4兆円から43.8兆円へと劇的に増加しています。この変化の背景として、2014年時点で出荷額全体の約7割を占めるまで成長し、愛知県の経済を支えている工業分野を次の中から選びなさい。(2018年 埼玉県公立入試 類似)
1. 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業
  2. 古くから地域の経済を支えてきた伝統的なせんい工業
  3. 沿岸部のコンビナートで発展した基礎素材を作る金属工業
  4. 全国的な需要拡大に伴い事業所数が増加した木材・木製品工業
- 問5 本州の中央部から日本海側へと流れ、その長さが日本で第1位である河川の名称として正しいものを選びなさい。(2018年 和歌山公立入試 類似)
1. 信濃川
  2. 利根川
  3. 石狩川
  4. 木曾川
- 問6 三重県の統計において、工業生産額が10兆円を超える高い水準となっている主な理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものはどれですか。(2018年 三重公立入試 類似)
1. 県北部の四日市市などが中京工業地帯の一角を担い、石油化学コンビナートや自動車関連の工場が集積しているから。
  2. 県全域が京浜工業地帯に含まれており、東京市場向けの電気機器や出版・印刷業が極めて盛んであるから。
  3. 内陸部に位置する地理的特性を活かし、高速道路のインターチェンジ付近に精密機械やIC(統合回路)の工場が集中しているから。
  4. 広大な平野を活用した大規模な稲作と、それに関連する食品加工業が産業の大部分を占めているから。
- 問7 日本列島のほぼ中央に位置し、太平洋に面した静岡県において、富士山周辺の豊かな湧水や河川水などの豊富な水資源を活用して発達した、出荷額が全国1位を誇る工業の種類を選びなさい。(2023年 三重公立入試 類似)
1. 製紙・パルプ工業
  2. 金属加工業
  3. 繊維工業
  4. 精密機械工業
- 問8 岐阜県の南東部は年間を通して降水量が多い多雨地域であり、その自然環境を活かした産業が古くから受け継がれてきました。この地域で、良質な杉などを活用して行われている産業として最も適切なものはどれですか。(2024年 東京都公立入試 類似)
1. 良質な杉などの建材を生産する林業
  2. 広大な平野を活用した銘柄米の栽培
  3. 火山灰の土壌を利用した畑作と畜産
  4. 複雑な海岸線を利用した真珠の養殖
- 問9 岐阜県の多治見市周辺は、古くから「美濃焼」に代表される伝統産業の拠点として知られてきました。現在、この地域では伝統的な技術を応用し、電子機器の部品や医療用素材などに用いられる先端素材の生産が盛んですが、その名称として正しいものを選択してください。(2019年 千葉県公立入試 類似)
1. ファインセラミックス
  2. パルプ・紙製品
  3. 合成繊維
  4. バイオプラスチック
- 問10 中京工業地帯の一角を担う四日市港の貿易に関する説明として、その輸出の背景や現状を正しく述べているものを選んでください。(2021年 滋賀公立入試 類似)
1. 輸出額において国内有数の規模を誇り、自動車や半導体等製造装置などの高付加価値な工業製品を中国などの近隣諸国へ送る拠点となっている。
  2. 日本最大の輸出額を誇る港であり、主にアメリカ合衆国に向けて食料品や衣類などの生活物資を大量に輸出している。
  3. 近畿地方の工業化を支える中心港であり、かつては鉄鋼の輸出が中心であったが、現在は原油の輸入のみに特化している。
  4. 九州地方を代表する港として、自動車の輸出額が全国1位であり、東南アジア諸国との貿易が総額の半分以上を占めている。
- 問11 日本の中央部、内陸に位置するある県では、2022年の統計において、リンゴの収穫量割合が18.0パーセントで全国2位、ブドウの収穫量割合が17.8パーセントで全国2位となっています。この県はどこですか。(2025年 千葉公立入試 類似)
1. 長野県
  2. 青森県
  3. 山梨県
  4. 岡山県
- 問12 高原野菜の産地で行われている栽培工夫について、その目的と気候条件を説明したものとして最も適切なものはどれですか。(2023年 岐阜公立入試 類似)
1. 標高の高い地域の冷涼な気候を活かし、他の地域の収穫が終わった時期に出荷することで、有利な価格での販売を狙う。
  2. 黒潮などの暖流の影響を受けた温暖な気候を活かし、他の地域よりも早く出荷することで、冬の市場での利益を確保する。
  3. 大都市に近い立地を活かし、輸送コストを抑えながら新鮮な野菜を毎日出荷することで、消費者のニーズに応える。
  4. 広大な土地で大型機械を導入して生産コストを下げ、安価な野菜を大量に出荷することで、海外産との競争に勝つ。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 冬の積雪が非常に多いため、雪の重みで屋根が崩れるのを防ぎ、雪下ろしの作業を軽減するため	白川郷は日本有数の豪雪地帯であり、冬には数メートルもの雪が積もります。合掌造りの急な屋根（約45度から60度）は、雪が滑り落ちやすくすることで屋根にかかる荷重を減らし、家屋の倒壊を防ぐ合理的な構造になっています。また、広い屋根裏を利用してかつては養蚕（蚕を飼うこと）が行われていたことも、この建築様式が維持された歴史的背景にあります。
問2	答え 1 標高が高く険しい一方で降水量が多いことから、豊富な森林資源を利用した林業が盛んである。	赤石山脈は南アルプスとも呼ばれ、日本でも屈指の標高を誇る険しい山岳地帯です。この地域は雨が多い気候条件を備えており、スギやヒノキなどの樹木がよく育つため、古くからその斜面を利用した林業が行われてきました。他の選択肢にあるような広大な台地やなだらかな傾斜地は、この山脈の主な特徴とは一致しません。
問3	答え 1 周辺の地域から通勤や通学のために流入する人口が、その地域から流出する人口を上回っているため	昼夜間人口比率は、夜間の居住人口に対する昼間人口（常住人口＋流入人口－流出人口）の割合を示したものです。名古屋市のような大都市を抱える地域では、企業や学校が集中しているため、周辺の自治体から多くの人々が仕事や勉強のために集まります。その結果、昼間の人口が夜間の居住人口を上回り、比率が100%を超えることになります。
問4	答え 1 自動車などの輸送用機械を中心とした機械工業	愛知県では高度経済成長期以降、産業構造が大きく変化しました。1960年頃はせんい工業などの軽工業も一定の割合を占めていましたが、その後、豊田市周辺を中心に自動車産業（輸送用機械）が圧倒的な成長を遂げました。その結果、事業所の集約化が進み数は減ったものの、機械工業の生産性が飛躍的に向上したことで、製造品出荷額は30兆円を大きく超える規模に達しています。
問5	答え 1 信濃川	長野県から新潟県へと流れるこの河川は、全長約367kmに達する日本で最も長い川です。長野県内では「千曲川」と呼ばれます。よく混同される利根川は、流域面積（川が雨水を集める範囲）が日本で第1位の河川であり、太平洋に注いでいます。
問6	答え 1 県北部の四日市市などが中京工業地帯の一角を担い、石油化学コンビナートや自動車関連の工場が集積しているから。	三重県北部の伊勢湾沿岸は、愛知県とともに日本有数の工業地帯である中京工業地帯を形成しています。特に四日市市では日本初の本格的な石油化学コンビナートが形成された歴史があり、現在も化学や輸送用機械（自動車）などの重化学工業が盛んなため、生産額が非常に大きくなっています。岐阜県のような内陸県とは異なり、臨海部の立地を活かした産業構造が特徴です。
問7	答え 1 製紙・パルプ工業	紙の製造工程では、原料の洗浄やパルプの希釈、冷却などのために大量の清浄な水を必要とします。静岡県は富士山からの豊かな湧水や河川水が得られるという地理的条件に恵まれていたため、古くからこの工業が発達し、日本一の出荷額を維持しています。
問8	答え 1 良質な杉などの建材を生産する林業	岐阜県の南東部は降水量が多く、樹木の成長に適した気候条件を備えています。このため、古くから杉をはじめとする良質な木材の産地として知られ、林業が盛んに行われてきました。他の選択肢にある「銘柄米」や「火山」などは、今回の岐阜県の特徴とは合致しません。
問9	答え 1 ファインセラミックス	多治見市周辺を含む岐阜県東濃地方は、良質な粘土に恵まれ、古くから陶磁器（美濃焼）の生産が発展してきました。この「土を焼いて固める」という伝統的な技術を高度化させ、原料の純度を高めたり化学組成を精密に制御したりすることで、熱や摩耗に強い「ファインセラミックス」という先端産業へと発展を遂げました。
問10	答え 1 輸出額において国内有数の規模を誇り、自動車や半導体等製造装置などの高付加価値な工業製品を中国などの近隣諸国へ送る拠点となっている。	四日市港は三重県に位置し、中京工業地帯の高度な製造業を支えています。輸出額が東京港に次ぐ水準にあるという事実は、この港が自動車や半導体関連といった日本の基幹産業の出口となっていることを示しています。輸出相手国が中国や韓国に集中しているのは、サプライチェーン（供給網）がアジア圏内で密接に構築されているためです。
問11	答え 1 長野県	長野県は、リンゴの収穫量が青森県に次いで全国2位、ブドウの収穫量が山梨県に次いで全国2位となっています。中央高地に位置し、標高が高い地域や盆地が多く、冷涼な気候を活かした果樹栽培が盛んです。選択肢のうち、青森県はリンゴが1位ですがブドウは上位ではなく、山梨県はブドウが1位ですがリンゴは上位ではありません。
問12	答え 1 標高の高い地域の冷涼な気候を活かし、他の地域の収穫が終わった時期に出荷することで、有利な価格での販売を狙う。	この栽培方法は、地理的条件による温度差を利用して、市場に出回る野菜が少なくなる「端境期（はざかいき）」に供給を合わせる点に最大の特徴があります。出荷時期を「抑制」することで、需要に対して供給が少ない状況を作り出し、農家の所得を向上させる戦略が取られています。なお、時期を早める方法は「促成栽培」と呼ばれます。